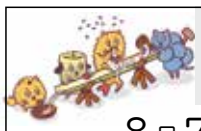

おかげさまで第四回 流しそうめん交流会

8月7日(日)午前10：30から
支部会館にて流しそうめんの他、
たこ焼き・焼き鳥・フランクフルト
綿あめ・かき氷・生ビール。スノードーム
作りなど楽しさ盛りだくさんです！！

けんせつ 清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203－0054 東久留米市中央町5－10－17
TEL 042－473－8751
FAX 042－473－8753
発行者　尾芦富雄
編集者　砂川　恵

賃上げ・予算要求で総決起

建設国保の予算確保の闘い始まる

全建総連と同東京都連は2017年度の建設国保予算要求と賃金・単価の引き上げを求めて、「6・28都要請行動」と中央総決起大会を行いました。

雨が降る中、9時半から新宿都庁前で開始された対都要請行動では、続々とつめかけた組合員が気勢をあげ、北島支部委員長をはじめとする交渉代表団を激励しました。午後からは、場所を日比谷に移し、全建総連の「中央総決起大会」。全国動員でいつもの野外音楽堂に入りきれないため、東京土建の部隊は小音楽堂に陣取ってモニターテレビで視聴、国会から駆けつけた自民、公明、民進、共産の各議員の連帯挨拶に声援を送りました。行動の最後は、東京駅までのデモ行進でアピールしました。

この日の行動には48都道府県から3600人の仲間が結集、清瀬久留米支部から23人が参加しました。

三葉分会　坂内三夫

上：都庁前集会。福祉保健局交渉で発言する東京土建本部の中村常任中執
右：雨上りの日比谷からデモに出発

世界に一つだけの手作りブローチ

主婦の会手作り交流会

6月18日（土）、青空分会の野田先生の指導で新聞のカラー広告を利用したブローチ作りをしました。好きな色の広告で4枚重ねにする為、まずは色選び。更に一枚一枚が6弁の花びらになる様に折り、ハサミで切る。開いてみると、「エー…なにこれ」思うように切れていなくて、びっくりしたり大笑いしたり。苦労しながら賑やかに、皆一生懸命に作りました。手早い方は2コ目も作る。

本当に新聞紙で作った物とは思えない出来ばえです。仕上げにラッカーでお化粧し、世界に一つだけのブローチが出来上がりました。

大満足で胸元を飾ってくれました。昼食は手作りのおいしいカレーをごちそうになり楽しい一日でした。

元塩分会　舘岡豊子

戦争ぜったいいやだから！

東久留米九条の会11周年のつどい

まろにえホールにて6月11日（土）午後7時開演で行われました。最初はアニメ「戦争のつくり方」上映。インターネットでも見る事ができます。原作の絵本は2004年、日本が戦争へと近づいていくのではないかと考えた人たちによって制作されました。

終戦70周年を迎えた2015年、新たに戦争の悲しみと不条理を繰り返してはならないと考えた製作者の人達が、この物語を広く伝えるためにアニメーション化しました。国民に嘘を言い、耳をふさぎ、うらぎりは許さず、徹底的に国民の隣同士で監視させ、知らず知らずのうちに戦争に突入していく内容だった。アニメの最後には、憲法で戦争を放棄すると決め、大きな犠牲のもとに築かれたこの平和な70年という遺産を、次の世代にきちんと手渡しできるかは、私たちひとりひとりが一歩を踏み出せるかどうかに委ねられていることを呼びかけます。

法政大学の山口二郎教授の講演。山口さんは市民連合の中心メンバーです。首相官邸前の金曜日行動では必ず行き、スピーチしているとのこと。アベ首相に対しては自己主張の強い幼児的リーダーで、批判に対する反省がまったく無いと批判。岸信介の怨念がのり移り、戦争できる国にしたい願望を持っている。こんなリーダーは今度の参議院選挙で倒そう。そのためには投票率を上げて選挙を盛り上げよう。野党を一人でも多く当選させよう！と力強く話されました。会場は満員でした。

清里分会　鈴木勝雄

アベ政権へのお笑い攻撃

～平和だから音楽が聴ける、お笑いが観れる～

戦争法廃止きよせ市民の会主催のライブ、トーク〝笑（ショウ）〟が5月31日（火）けやきホールで行われました。500人の会場は満席。

まず、『いちよ・たかこ・やぎりんトリオ』によるライブ。アイルランド、パラグアイ、メキシコなどの民謡を中心に1時間。やぎりんさんの南米の竹笛ケーナ。いちよさんの透き通った声。そして、たかこさんの、パラグアイのハープ『アルパ』のソロには、万雷の拍手。世間にはあまり知られていなくても、素晴らしい方々はいるものです。

そしていよいよ、松元ヒロさん。元ニュースペーパーのメンバーです。決してテレビには出ません。いいえ、出れません。アベ政権への痛烈な、お笑い攻撃です。政治ネタなのに、会場は静まることなく爆笑と拍手の連続。

しかし、最後の話『憲法くん』には笑いではなく、少し、しんみりしました。憲法前文を真摯に暗誦する松元ヒロさん。憲法守れ、初心に帰れ。現実を憲法の理想に近づける。松元さんの憲法への強い思い。素晴らしいトーク〝笑〟でした。

松竹分会　阿部史夫

知ってもらおう・見てもらおう

地域に広げる匠の技術(ワザ)

第39回 住宅デー 1600人で大盛況

トンカン トンカン 7会場で開催！！

大人も子どもも気分高まる こっちこっち！もっと投げて！！

南町分会・市民プラザ広場

6月5日（日）、心配した雨も上がり会場へ。足元は少しぬれていましたが、会場作りも着々と進み、人出も増えてきた。かき氷、やきそば、バザー、くじ引き、木工教室がはじまりました。子ども達もちょっと興奮ぎみ。組合員指導の元かなづちを振ります。それを見ていたある夫婦、「やはり男の子ネ」なんて言う言葉が聞こえました。女の子もいましたよ。木工教室が一番人気だったかな？いえいえ、やきそばも美味しかったけど。

ミニ上棟式が人気でした。大人も子供も気分高まる様子。「こっち、こっち！」「もっと投げて！」「こっちにも！！」。〃ふるまい〃もっと増やしてとのリクエストがありました。

実行委員、サポートの皆様ご苦労様でした。反省会を兼ねまして、ノドの渇きを潤して、今年の住宅デーが終わりました。お疲れさまでした。

南町分会　小坂悦子

会場にひびく槌音 「大工さんになりたい」と子ども達

三葉分会・市民プラザ広場

朝から小雨がパラつき、予報は午前中雨模様とのこと。しかし9時を過ぎると雨が止み、ホッと胸をなでおろす。

6月5日（日）、午前10時を過ぎると続々と市民が会場の市役所広場に駆けつけてくる。

子ども木工教室や焼きそば、かき氷には早くも行列ができる。主婦の会のバザー、電気工作、スーパーボールなども大人気だ。

とくに、6人の大工さんが対応した子ども木工教室では、トンカントンカンと槌音が会場に響きわたる。

小学生を中心に40人が貯金箱、小鳥の巣箱、ロボットづくりに挑戦。得意気な顔で完成品を持ち帰っていく。

感想を聞くと「工作が好き」「楽しかった」「大工さんになりたい」などの嬉しい声も寄せられる。

組合員が配布したチラシを見て、初めて住宅デーに参加したという家族も多くいた。

一番の盛り上がりは上棟式。お菓子撒きは、黒山の人だかりでドッと歓声がわく。

南町分会と合同の三葉分会住宅デーには組合員と家族49人ふくめて、約300人の市民が参加して大盛況。

天候にも恵まれ、東京土建の存在感を大いにアピールすることができた。

三葉分会　坂内三夫

撮影：望月慎一郎
渋谷清瀬市長がカンナ削り体験

ハサミ研ぎが大好評

北浅分会・マルエツ前

6月5日（日）、前日まで降っていた雨もあがり、好天に恵まれた中での、北浅分会の住宅デーの開催でした。

包丁研ぎ、まな板削り、はさみ研ぎは大好評で、職人さんたちは大忙しでした。

子供達向けのイベント、金魚すくい、スーパーボールすくいも、皆夢中になって楽しんでいました。

住宅相談もあり、充実した住宅デーとなりました。

北浅分会　谷川清香

上：ハサミ研ぎは名人の腕の見せ所
右：ダイナミックなまな板削りは通行人も夢中で見学

マメができるほど奮闘

元塩分会・清瀬三小

6月5日（日）住宅デー当日、朝から小雨の降る生憎の天気でしたが、早めに集まった数人で合羽を着て準備をしていると徐々に天気も回復し、「雨の様子を見ていた」という若い人達も準備に駆けつけてくれました。

また、清瀬わかば会との共同開催の為、会場に来ていた高校生のボランティアの人達も手伝ってくれたりと、とても活気付いた住宅デーになりました。

清瀬市長のカンナ削りを皮切りに次々と子どもたちが増え始め、丸太切り、釘打ちと、たくさんの人が楽しんでくれました。

カンナ削りを担当していた大工さんも手にマメが出来るほど奮闘しました。

今年はロープワーク等の企画を持ち込んでくれる人もいて、何か新しい風を感じる住宅デーになりました。

元塩分会　望月慎一郎

滝山分会では青年部が木工教室の指導員で活躍。たくさんの親子連れが楽しみました

他分会が大勢参加で楽しい開催

松竹分会・竹丘公園

5月22日（日）、松竹分会の住宅デーに参加しました。開催場所は竹丘公園で行い、催し物は、包丁とぎ、木工教室、まな板削り、住宅相談を行いました。

自分の担当は包丁とぎで、自分以外にも後継者や青年部、他分会の人たちも協力して包丁を研ぎました。包丁は最終的に91本研ぎました。

木工教室では、竹とんぼ、サイコロ貯金箱、鳥の巣箱、ロボットペン立てがあり、来てくれた子供達が組んで、釘を打ち、物作りを楽しんでいました。大盛況で23人も来てくれました。

まな板削りは13人から依頼がありました。住宅相談では4件の相談がありました。他にも熊本県復興支援募金や社会福祉の募金を行い数多くの人に協力していただきました。

今回の参加者は松竹分会14人、他分会15人で住宅デーを盛り上げました。みんなで協力して行った住宅デーは、色々な人と話ができ、とても楽しく参加できました。

青空分会　佐藤聖峻

手作りカレーが好評！ 若手役員＆家族の活躍

滝山分会・団地センター広場

第39回住宅デーは滝山分会は単独開催日程と決まり、5月29日（日）天候に恵まれ、滝山団地センター広場で開催されました。分会組合員家族39名、他分会より応援の組合員家族15名、総勢54名の参加で、今までになかった賑やかな住宅デーとなりました。

残念な事は広場の人通りが年々少なくなってきている現実があります。しかし、若手組合員の発想で工作教室のペイント体験、かき氷など、子ども達に人気のある催し物が会場を盛り上げました。

住宅相談が3件もあり、遠い昔から思い出しても久々の事です。健康教室には72名の参加があり、老若男女共に自分の健康を気づかっている事のあらわれかと思います。

昼食は若手役員の奥さんたち、友人の協力で作って頂いたカレーライスがおいしく好評でした。参加頂いた組合員家族の皆様、有難うございました。

滝山分会　樋口征之

匠の技術(ワザ)を子どもらに伝授しよう

清里分会・JA横駐車場

6月5日（日）朝小雨あり、心配された。住宅デーも、無事に開催され、総勢150人の仲間が参加。組合員31人、主婦の会員8人の協力の元、包丁研ぎ84丁、まな板削り19枚、カンパ6・170円、サービスの野菜はすべて配布しました。住宅相談は4件で、古名さんが対応。工藤裕子さんは土建の宣伝カーでウグイス嬢をやり、「子どもからウケが良かった」と喜んでいた。川崎カネ子さんは「朝、心配だったけど、人も集まってよかった。来年はもっと集めたい」と抱負を語る。

子ども達が木工教室に21人集まり、担当者達は汗ダクダク。猫の貯金箱など4種類から選び、ペンキ塗りでは汚れないようにビニールのエプロンをかぶり大奮闘。なかにはヨーヨーを手に持ちきれない程、持って帰った子もいた。健康教室は、血圧測定などを行い、年輩者は喜んでいた。また、松竹分会からは4人も応援が入り、ありがとうございました。来年も頑張ろうの乾杯で終了、おつかれさまです。

清里分会　鈴木勝雄

撮影：廣野順子

全世代の仲間・家族も一緒に 頼もしい分会に感謝

青空分会・八幡東公園

6月5日（日）雨天のスタートの住宅デー、早朝から判断の問い合わせ。新分会長としての最初のイベント。「ついてない」「どうしよう」ととりあえず集合して待機。

幸運にも小雨になり一部青空も、そこに「やりましょうよ！」柳本さんの一声。一気に動き出す。ありがたい一声、まだまだ未熟。

しかし30分遅れのスタート、例年とは異なる段取り。いつの間にか人が集まり始めた。

「やばい」。しかも、例年よりも出だしが良い。ドタバタのローリングスタート。

ところがみんな、自分の仕事をいつも通りに。ドタバタしているのは自分だけ、頼もしい分会。

今年は全体を見る事が出来た。包丁研ぎが手薄だったので手伝った。

家でも1、2本は研ぐので軽い気分でいたら大間違い！5本目位で腰は痛くなり、10本目位には指の皮が擦り剥けてしまった。こんなに大変だとは！

今までとは異なる視点で体感した今回の住宅デー。ベテランと若者、主婦の会と家族。バランスよく参加してくれた。みんなの後押し！若返りは必要かもしれないが、バランスが大切。若者が入ってベテランが抜けたのでは意味がない。このようなイベントをやると本当に良く分かる。

ベテランに残ってもらうのも課題である。

青空分会　長谷川重之

仲間と家族の健康守る

2015年度の受診率は50.3%

5月22日東久留米わくわく健康プラザで262人、6月12日に清瀬小学校体育館にて、362人の受診で今年の集団健診が終了しました。両日ともに天気が良く暑かったなぁ。大きなトラブルもなく開催できたのは、前日準備と当日運営に奮闘してくれた実行委員の皆さんのおかげだと思います。お疲れ様でした。

健康診断の受診は、仲間と家族の健康を守るだけでなく、私たちの大事な東京土建国保を守るとりくみにも繋がります。来年度の目標は、受診人数をもっと増やしていきたいし、家族と一緒に気軽に出かけられる日曜健康診断でありたいと考えています。

昨年2015年度の支部全体の受診率は50・3%で、768人の受診がありました。2016年度は60%以上を目指して引き続きとりくみます。9月25日(日)には清瀬診療所での日曜健診を予定していますので、今回受けられなかった皆さんは是非利用して下さい。

社会保障対策部長　徳武弘士

上：家族で来場する仲間を迎える徳武部長と支部役員の面々
中：体育館内でも実行委員が笑顔で案内
下：清瀬会場の朝一番は毎年行列ができる

地域建設現場の実態を知り、運動に活かす

全国安全週間現場訪問

6月24日に市内の建設現場に役員、書記合わせて3人で訪問しました。

訪問行動に先立ち、清瀬と東久留米の両市内を回り、公共工事現場を選定。東久留米青少年センター（元請：瀬間工業（株））の改修工事を紹介され、前日に現場監督に会い、懇談の約束を取りました。

懇談では厚生労働省の指導で行っている安全週間については一定の理解がありました。設計労務単価上昇による現場労働者の賃金アップ、公契約条例に対する質問もしましたが、地元の建設会社で詳しく理解していないと思われ、明確な回答が得られませんでした。

その他、事前のアポなしに訪問した現場では懇談を断られ、訪問に至りませんでした。

懇談を成功させるには、やはりもう少し大きな現場の訪問が必要と感じました。それには地元の現場だけでは無理があり、多摩北ブロックまで範囲を広げて現場を選定する必要があると感じました。

滝山分会　高橋哲也

7月31日（日）は東京都知事選挙です。
暮らしやすい・働きやすい東京都に。
必ず投票に行こう！！

地域に根付いた組合活動が大切

東京土建一般労働組合・第42回幹部学校が、6月26日ベルサール日本橋で開催されました。全36支部570名、清瀬久留米からは16名の参加でした。

午前中の全体会と午後の分科会の形で行われました。中央大学教授の話もありましたがなかなか難しい。

「地域から共同の取り組みを広げ、東京土建の活動水準を向上させよう」のテーマでは、住宅デーを始めとする組合活動、建築や災害対策も同様です。地域に根付いた組合活動が、とても大切な事を学びました。

私が参加した、賃金対策・労働対策分科会では、全国で広がるアスベスト訴訟の話がありました。アスベスト被害は、早急に国とメーカーに責任を認めさせるべきです。2006年から使用禁止になっているとは言え、それまでは使用していた訳だから、体内に蓄積している人は沢山いるはずです。

潜伏期間も20年から30年と長く、被害は今後も拡大していきます。アスベスト訴訟への運動も大切な組合活動です。テーマは、他にもありましたが、とても勉強になりました。

学んで来た事は、組合の仲間に伝え、活動に活かしていきたいと思います。

松竹分会　尾芦富雄

湧水

分会長2年目になり他分会にも若手分会長が出てきました。これからもどんどん交流を深めていきたいと思います。飲み過ぎちゃったらごめんなさい。

さて、本題ですが、自分も初めは土建ってなんて面倒くさい組合なんだと思い、群会計や群長など嫌々やらされてました。ある年後継者対策部をやることになりました。昔からの友達がいたので行きやすかったです。同世代の人たちがいて、何となくいいかな～と思うようになりました。しかしまだ17日の群会議は面倒くさい。

そのうち色々な実行委員をやらされるようになり、ある時定期大会の実行委員会に行ってみると、なかなか決まらない議長決め。あーめんどくせーと自分がやることにしました。実際に議長をやってみると意外と楽しく、多分あの人数を前にしゃべるのは初めてでした。ここで練習しとけば娘の結婚式のスピーチは失敗しないだろうと思ったら楽しんでできました。

次の年分会長をやってくれと頼まれて、まぁ組合にも世話になってるしいいかと思って引き受けました。やってみたら土建のわからない事ばかり！当時の分会担当書記には、大分くだらない事も聞いたと思います。まぁ一分会長になるとやることといっぱいあります。分会行事から支部行事まで…。でも色々やってるうちに沢山の人との出会いがあり、自分のよく分からない質問に真剣に答えてくれる人たちに出会えました。保険の事、税金の事、情勢の事まで、今まで考える事もしなかった事が学べました。また、色んな部会に出てるもんで、今までパチンコ行ったり、飲みに行ってた時間が少なくなり無駄金も使わなくなりました。

こんな感じで考え方を変えれば、面倒くさい土建も、楽しく自分に有効に付き合って行けます。まだ組合活動に参加してない皆さん、自分の為の組合ですよ。仕事が忙しくて参加できないのはいいんです。何を聞いても恥ずかしくないんです。面倒くさいと思ってる組合員の皆様一人一人が言わないと何も変わりませんよ。上手く付き合って、自分の為の良い土建にしていきましょう。

松竹分会　宮崎達夫

私のDライフ

「土建」を楽しく有効に